e-Front runners

現場の電子化を強力に推進！

保全管理システムＰＯＪ
Point Of Job System for Maintenance

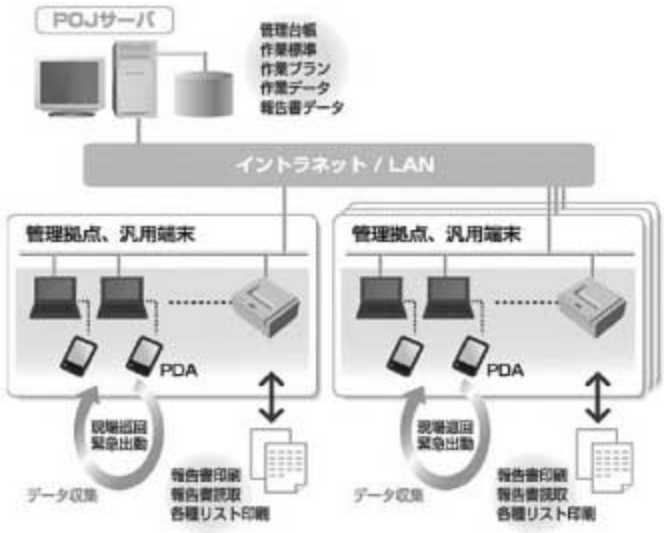
図面管理システムＬＤＡ
Integrated Live Drawing Archive System for Supervision

POJ（Point Of Job system）は保全管理業務の「台帳管理」「作業標準管理」「作業プラン管理」から「作業計画」「作業指示」「作業結果収集」「報告/承認/分析」まで網羅した総合的な保全管理システムです。 また，LDA（Integrated Live Drawing Archive System）はCAD図面をベースに設備の監視表示，維持保全，台帳管理，図面/文書管理機能などマネージメントに必要な情報を面的なレイアウト情報と共にダイナミックに提供します。これら二つの情報システムは時代が要請する設備のライフサイクル管理や現場のリスク管理に適合する機能を提供します。

■現場の定型作業を変革するPOJ

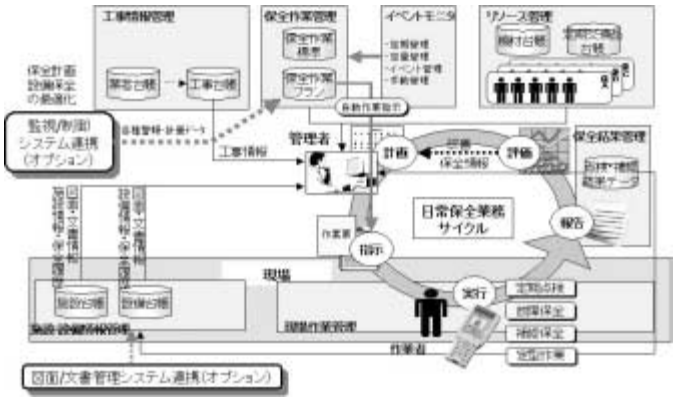
●POJの概要

設備の巡回点検，故障，補修対応から現場の定型作業まで，「計画（Plan）」「指示/実行（Do）」「報告・承認（Check）」「評価（Analysis）」にわたる保全業務サイクルの情報化を１台のPOJサーバ（Webサーバ）と携帯情報端末で実現します。



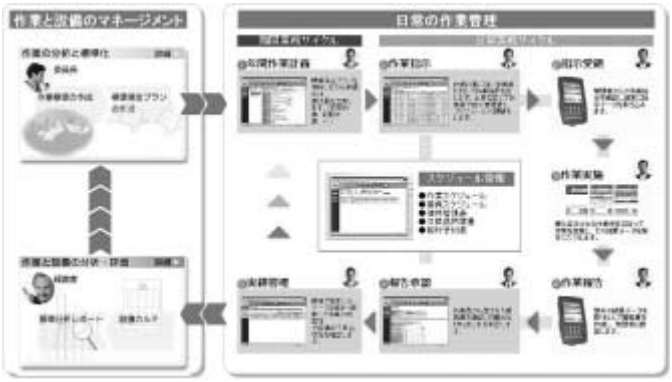
●POJの主要機能

右上図はPOJの主要機能構成を示しています。「作業標準管理」と「作業プラン管理」機能で標準化による効率化と現場作業の品質向上を実現します。また，イベントモニタ機能では作業プランの自動作業計画・自動指示機能を発揮して管理業務の効率化を図ります。



●POJの業務マネージメント機能

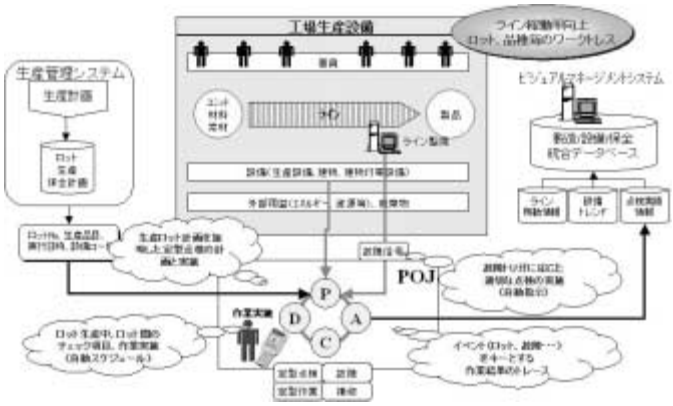
「日常業務サイクル」では作業指示，指示受領，作業実施，作業報告や報告承認機能とこれらのスケジュール管理機能で日常の管理を行います。



「期間業務サイクル」では作業と設備の実績管理機能で年間の作業計画に反映し，「設備と作業のマネージメントサイクル」では作業標準分析や設備カルテ機能によるライフサイクル管理の結果から作業標準や作業プランの見直し・最適化を行います。

●工場ラインの稼働率向上とワークトレース例

工場生産設備への適用では，ラインの保全管理はもとより生産ロット対応の的確な作業指示とワークトレース情報により稼働率向上や製品品質向上に寄与します。

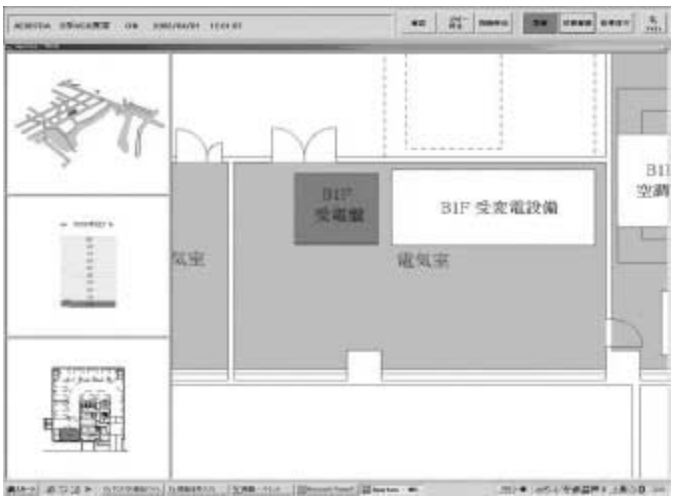


■設備のマネージメントを変革するLDA

●LDAの概要

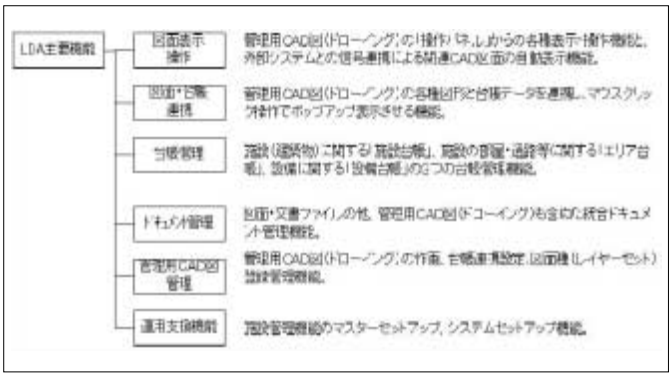
LDAは各種設備データをリアルなCAD図面上でビジュアルに統括表示することで，俯瞰的なマネージメントを実現し，見過ごしがちな業際の無駄やリスクをビジュアル化します。

また，監視システム等と連携して警報や故障状態を関連図面と図形色替えでダイナミックに自動表示し，直感的なマウス操作だけで設備台帳や故障修理履歴，関連ドキュメントを即座に表示します。



●LDAの主要機能

下図はLDAの主要機能を示しています。「管理用CAD図管理」機能では，紙の図面ではCAD作画機能で，既存CADデータの場合はインポート機能で図面データを維持管理用図面に再生します。



■POJとLDAの適用例

●POJ

- 工場設備の保全管理
- 工場生産ロット毎のワークトレース
- インフラ設備の保全管理

●LDA

- 防災監視表示
- ガス漏れ監視表示
- 施設/設備/図面管理

注1）POJ及びPoint Of Jobは富士電機システムズ株式会社の登録商標です

注2）LDA及びIntegrated Live Drawing Archive Systemは富士電機システムズ株式会社の登録商標です

⚠**安全に関するご注意** ご使用の前に，「取扱説明書」や「仕様書」などをよくお読みいただくか，当社またはお買上の販売店にご相談のうえ，正しくご使用ください。

富士電機システムズ株式会社